

しろふねしゃ

白船社・新刊のご案内

# うるし でんとう 漆と伝統

著 むろせ かずみ  
室瀬和美

(漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者)

「うるし」って何だろう？

「蒔絵」の人間国宝がひもとく、千年を超える漆文化。

素材・わざ・文化史……、この一冊でよくわかる漆の教養書。

漆と人間の付き合いは長く、なんと原始時代から。

特に日本には、千年以上続く、世界有数の漆文化があります。

そんな漆を知る扉となるのが本書。「蒔絵」の人間国宝が、漆の素材・わざ・文化史などをひもとく、漆の教養書です。著者は漆芸家で重要無形文化財「蒔絵」保持者。国内外で創作・国宝修理などを両輪で手がけ、半世紀以上漆と向き合う漆工芸のスペシャリストです。

「えっ!」と驚く豆知識や目からウロコのディープ技術論など、漆のすご面白話が詰まった全66話。「漆」と「伝統」を軸に、技術者ならではの視点で、漆文化の魅力を縦横無尽に伝えます。

初心者にも経験者にもわかりやすく読み進められる一冊です。

## 【書誌情報】

書名：『漆と伝統』

著者：室瀬和美（漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者）

定価：本体2,000円+税（税込2,200円）

体裁：四六判・並製・224頁（カラー56頁）

発行元：有限会社白船社

ISBN978-4-87782-149-4 Cコード：C0070

発行日：2024年11月20日



## 【著者のご紹介】

室瀬和美（むろせ・かずみ）

1950年、東京都生まれ。幼少より漆芸家の父・室瀬春二の仕事にふれ、漆芸の道へ。東京藝術大学入学後、松田権六・田口善国に学び、蒔絵を志す。同大学院修了後、創作と漆工文化財の保存修理に取り組み、91年目白漆芸文化財研究所を開設。2008年、重要無形文化財「蒔絵」保持者に認定。パブリックコレクションに、文化庁・大英博物館・メトロポリタン美術館・伊勢神宮ほか多数。

## 【本書の主な内容】

第1章 漆という素材

第2章 漆で「作る」

造形と素地／装飾技法／材料・道具

第3章 漆で「直す」

第4章 漆の技術史

第5章 漆を「伝える」

全66話

## ▼ご注文方法

白船社の商品は、トランスビューの取扱いで納品します。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じ（返品随時可）です。取次ルートの場合は、地方・小センター経由です（買切・返品不可）。トランスビューとお取引のないお店からのご注文の際は、小社よりご連絡いたします。ご注文は一冊からお気軽にどうぞ。

直接取引（返品可／トランスビュー 取引代行） ▶ **FAX 0120-999-968**

取次ルート（返品不可／地方・小センター経由） ▶ **FAX 03-3235-6182**

貴店名	ご注文	漆と伝統
		著 室瀬和美
		本体2,000円+税 四六判・並製・224頁
		ISBN978-4-87782-149-4 C0070
ご担当者	様	冊

しろふねしゃ  
有限会社 白船社

〒171-0044 東京都豊島区千早1-20-13 新東京木材会館  
TEL03-3959-6994 メール:info@shirofunesha.com